

# 奈良革新懇

全国革新懇ニュース471号(奈良版)  
《発行》平和・民主・革新をめざす全国の会  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8  
千駄ヶ谷尾澤ビル  
2025年  
7月・8月合併号



222号

平和・民主・革新の日本をめざす奈良の会(奈良革新懇)  
〒630-8213 奈良市登大路5-5 奈良県教育会館内

【携帯】080-4243-6370 【E-mail】tukasa55122000@yahoo.co.jp



民青同盟奈良県委員会による  
香芝市での食料支援活動

## 今を生きる学生・若者の 生活・暮らし、悩み、願い・要求

県委員長になって2カ月ちよつとのペ  
ーですが、よろしくお願ひします。  
これまでは、同盟員としての活動では  
言われてするといふことが多かったの  
ですが、県委員長になって自分で動いて  
かなければならないといふことをしみじ  
みと感じているところです。



藤田 陽人さん

2000年生まれ。25歳。  
東大阪大学子ども学部  
で学び、保育士と幼稚園  
の免許を取得。卒業後、  
教諭の免許を取った。大  
阪の保育園で勤務。今年  
の5月半ばに民青同盟の  
奈良県委員長に。大和高  
田市在住。

# 今を生きる学生・若者と共に 自己責任を押しつける社会を変えていきたい

日本民主青年同盟奈良県委員会 委員長

藤田 陽人さん

## 学生生活を直撃している物価高

民青同盟では、学生の食料支援の取  
り組みを大切にしてきました。

食糧支援の取り組みに来られる学  
生さんは、物価高がマストの問題だ  
という認識を持っています。

ここ最近の米価を筆頭に物価高が  
すさまじい。実家から大学に通って  
いる学生も、下宿して他県から一人暮ら  
しの学生も、とにかく物価高で食費が苦  
しいという悩みをいちばん最初に話さ  
れます。日用品の支援もしているの  
ですが、洗剤などの日用品の需要もかな  
り高く、日常生活に関わるお金を下げ  
てほしいという願ひは切実です。

## 食料をとる行為をためらう 学生さんたち

食料支援の取り組みに来られる学  
生さんの雰囲気から、「人に頼れない」  
「頼りにくい」社会になっているとい  
うことをひしひしと感じます。

来られた学生さんのほとんどの人が  
食料をとる行為をためらいます。

ためらっている学生さんに「全然持っ  
て行ってもらっていいですよ」と声をか  
けます。袋を渡すのですが、その袋にパ  
ンパンに食料を詰める人はなかなかい  
ません。「パンパンに詰めてもらって持っ  
て帰ってもらった方が賞味期限とかの  
関係もあるのでいいんです。」と話しま  
す。

現在の日本では、人との繋がりが薄  
れているがゆえに、全く知らない他人  
に頼るといふ行為に抵抗感があるのか  
なあといいことをすごく感じます。「本  
当にいいんですか?」と心配そうによ  
く聞かれます。

また、「なぜこういうことをやってい  
るんですか?」ということもよく聞か  
れます。ちよつと怪しむような感じで、  
何か裏があるんじゃないかみたい。そ  
んな時、「ただただみなさんが困ってい  
るということを知るので、少しでも力  
になれたらと思って支援しています」

「アンケートだけ書いてもらえたら、それでいいので」と話すと、パッと明るい表情になって食料をとってくれる人が多くなります。

## SNSの力は侮れない

7月に奈良市にある教育会館で食料支援の取り組みをした時は、6人来た中で最初の1人以外は全員一度以上来たことがある人でした。奈良市での参加者6人全員がSNSを見て来てくれたということです。お知らせのビラを撒いたりもしているのですが、SNSを見て来るといいう人が多いうようです。大学名をハッシュタグ付けて流すと、大学名で検索している人に食糧支援が行われる情報が届きやすいようです。SNSの力は侮れない、すごく大事ななあと感じています。

SNSを見て来てくれた人でも遠慮しがちです。こちらに打ち明けられない悩みはもっと深いところにあるとは思いますが、まず表面に出てきた悩みに応えるという点で食料支援という方法はいいなあと思っています。

## 「物価高」と

## 「学費」と「バイト」がセットに

アンケートを書いてもらいながら学生さんと対話をするのですが、第一に物価高による食費の高騰の話になり、そのお金の流れで学費の問題になります。

学費が高いというよりは、とにかく生活に困ってお金がない。その関係で学費を払うためにアルバイトをしなければいけない。特に下宿して一人暮らしをしている学生さんでは、アルバイトのせいで日々追われているという話をすごく聞きます。「物価高」と「学費」と「バイト」をセットで話してくれる人がとても多いという印象があって、「時間がない」、「時間がないのはバイトのせい」、「バイトをしなければいけないのは学費と物価高騰のせい」という、とても繋がったお話を聞くことが多いです。



## 若者に自己責任を押しつけてきた社会を変えていきたい

大きな枠組みで言ったなら「お金」が最も悩みの深いところで、そ

の「お金」の大きな悩みの中に「食費」と「学費」と「時間」が分かれていっているという感じです。

バイトのせいで授業に行けないという話はあまり聞いてはいませんが、授業に出ている学生さんは多いと思います。みなさん真面目で、真面目過ぎるために食料支援を受け取ること拒否感があったり、申し訳ないという気持ちが強いかなあと思えます。

社会に支えられて一人ひとりの個人が生きていくという感覚ではなく、「自己責任ここに極まり」ではないですが、若者に自己責任を押しつけてきた社会を変えていかなければいけません。

## 賃上げとともに

## 長時間過密労働の解消こそ

一般的には保育士や福祉の仕事は、ハードワークな割に給料が安いというのがありますが、僕が勤めていた保育園は大きな企業が営んで全国展開していたところ待遇自体はよかったです。

初任給の手取りが19万円ぐらいで、住宅補助も出ていて家賃を払う必要がなく、僕が払っていたのは水道代と電気代と食費ぐらいで

したが、その分長時間労働でした。ですから僕の場合は、世間で言われている低賃金で働く保育士という感じではありませんでした。

今の若者の労働に対する要求は、賃金よりも労働時間に対する要求の方が強いのではないかと思います。

賃金も上げなければいけません。賃金に見合った労働時間にすることも大事ではないでしょうか。

お金を稼いでも使う時間がありません。一日8時間労働と言われるかもしれませんが、8時間は上限であって、それ以下でもいいのだと日本社会全体の認識を変えていかなければなりません。

志位和夫さんがこの間「自由な時間」を拡大するたかいを提起していますが、今疲弊して働いている世代や若者に「労働時間の短縮」はすごく刺さると思います。

そしてこの「労働時間の短縮」とセットで、「業務を減らす」ことも大事です。「働き方改革」でもそうですが、労働時間だけが短くなくてもより激務になるだけです。業務の内容改善も徹底していかねばなりません。

## 大人の待遇改善が

### 少子化解決や

### 子どもが明るく育つ基礎

子育て支援も重点的におこない、社会を根っこの方からよくしていくことが僕の願いです。

「子どもは国の宝」とよく言われますが、子どもを支えている大人たちの待遇を改善することがすごく大事だというのが僕の持論です。子どもの未来を明るくするためには、子どもの未来の姿である大人の明るい姿を見せてあげないと子どもは明るく育ちません。大人の労働環境や年金問題などの改善が見通せる明るい社会をつくるのが少子化解決の確かな道ではないでしょうか。

## 今を生きる学生・若者と

### 新しい政治をつくる展望

### 若者にとって政治が

### 「自分ごと」になっていない

今回の参院選では、若者やこれまで選挙に行っていなかった有権者が選挙に行くようになった結果、6%も投票率が上がり、参政党

や国民民主党の議席が伸び、共産党や自民党・公明党などの既存政党が大きく後退しました。

今を生きる学生や若者にとって政治は、「推し活」みたいな感じになっていくのではないのでしょうか。政治が自分の暮らしに直結するものというよりも、どちらかと言うと個人の人気投票みたいな感じになっているように思います。

参政党や国民民主党の党首のように、演説が「上手い」「わかりやすい」ところが伸びたと言われています。

アイドルの感覚に近いのかなあ、「自分ごと」としてではなくて「推し」とかそういう感じに選挙をとらえているのかなあという印象を今回の参院選で受けました。

### はつきりものを言っている

### 政党が伸長する中で・・・

政権交代とか共産党が伸びるということに根本的には関わっていることだと思っておりますが、今回の参院選の過程とか結果を見て、はつきりものを言っている政党が伸びています。しかし、参政党とか国民民主党などのようにはつきりと

ものを言う流れが、今の社会では間違った方向に進んでいます。

共産党もはつきりものを言っているのですが、共産党の主張というのはいくく包括的なもので、「みんな大事でみんないい」みたいな感じの印象を受けます。「みんな」という括りでは今の社会では個人にあまり響かなくなっているのではないかと思います。

「みんな」と言われたら、自分は「みんな」の中に入っていないのではないかと若者は感じています。苦しんでいる自分は何とか暮らせていたら「みんな」の中に入っていないんじゃないかみたいな感じがあると思うのです。

## 外国人の排外主義批判でも

### 一人ひとりに響く

### 工夫が必要

外国人の排外主義の問題でも、「共産党は外国人ばかり入れて優遇したいだけやろ」「マナー違反する外国人は取り締まなくてはいかんやろ、普通は」など、ネットの中の意見だけ見ている限りでは、共産党とか左翼的な党は「外国人にはやさしいが、日本人には厳し

い」という印象を持たれている節があります。

「日本人ファースト」ではなくて、「人間にファーストもセカンドもない」と共産党は主張していますが、「ルールを守らない外国人はもちろん等しく罰せられるべきであって、それは日本人も外国人も関係ありません。法の整備をしつかりして日本人、外国人関係なしに犯罪を犯した人は取り締まり、その事情に合わせた支援をしていきます」ということをはつきりと表明した上で、外国人の排外主義の何が問題かを真つすぐに批判することが必要です。

はつきりと「いいことはいい」「悪いことは悪い」という流れをつくっていくことが新しい政治をつくる展望に深く関わっていきます。共産党の政策は国民の願いに沿っていきますから、国民に届きやすくなるのではないのでしょうか。

だから、「あなたにも」と個人個人に寄り沿う話し方の工夫が必要だと思えます。「誰一人取り残さない」というメッセージをもっと押し出していきたいです。

言葉の重みが大事なんだなあ、と今回の参院選で感じました。共

産党の演説には重みがないということではないのですが、一人ひとりに重く響く言葉は参政党などの方だったのかなあという印象を持ちました。

## メディアにおける 高齢者と若者の共同を

### 紙媒体の機関紙や新聞も大事 自分の得意なメディアで 情報の発信と共有を

僕自身はSNSとかネットの活動には正直「うとい」側の人間なので、SNSの分野で僕が力になれるかといえば微妙なところなのですから…。

無理をしなくても自分のいちばん得意なメディアで情報を発信したり、訴えを広げ、情報を共有していくことが大事だと思います。

新聞も「オールドメディア」とか揶揄されていますが、今度の参院選でもその「オールドメディア」と言われる新聞とかテレビなどから情報収集している人が7〜8割くらいいたという調査結果が報道されています。

SNSも大事ですが、紙媒体の機関紙づくりや新聞づくりは若者にはできない強みです。新聞づくりのやり方を知っているのは高齢の方々です。文章を書く力も高齢の方々は若者よりすごく上です。世代ごとに括って主戦場を考えると、SNSはしんどいし、よくわからんから若者に任せる。その代わりに、新聞づくりで頑張るって訴えかけるからいっしょに頑張ろうぜ！」

自分ができないことって、パフォーマンスが発揮できる力は下がると思います。あれもこれもと個人でやろうとしてもできることは限りがあります。情報を共有しながら、世代それぞれの主戦場を活かしてたたかうことの方がいいのではないのでしょうか。

SNSの分野では、若者は得意な人はすごく得意です。SNSができる若者を見つけ、育てるのも大事です。



### 「高齢の方々にとって 「発信するため」の SNSでなくてもいいのでは

高齢の方にSNSの使い方を指南することも大事だと思うのですが、必ずしも「発信するため」のSNSでなくてもいいのではないのでしょうか。X(旧ツイッター)とかインスタグラムの見方だけ知っていれば、若者の情報は自然と入ってきます。

SNSで得た若者の要求を紙媒体の新聞で自分と同じ世代の方に伝えるということはすごく大事なことです。SNSで入ってくる情報を新聞で伝えれば、新聞しか読めないという方でもSNSを見ているようなものになります。

### それぞれの世代の強みを かみ合わせて活かしましょう

このように世代間で情報を共有していけば世代間の情報の「断絶」という考え方をしなくてもよいのではないのでしょうか。

自分たちがターゲットにできない層ではない人にも伝えてもらうためにSNSで情報が収集できると

というのが若者の強みであり、「若者の出番」であると思います。

若者は、経験も知識の量も高齢者の方に比べたら少ないですから、若者が発信できることは意外と限られているのではないかと思えます。これまで社会を支えてきてくたさった高齢者の方々の経験や知識を若者が共有すれば、若者はその情報をSNSで発信して若者たちに高齢者の経験や知識を共有することができます。

それぞれの世代の強みを、それぞれの強みとかみ合わせて活かしていくことがいちばん大事なのではないのでしょうか。

僕自身、若者としてまだまだ経験や知識不足です。先輩のみなさんから大いに学び、頑張っていきたいと思えます。

### 民青同盟奈良県委員会による 学生への食料支援活動 支援のお願い

●支援物資の支援をお願いします。  
日用品の支援に関しては問題ありませんが、食料に関しては賞味期限や生鮮食料品のいたみの問題もあり、できる限り現金での支援がありがたいです。  
日本共産党奈良県委員会か最寄りの地区委員会事務所にお預けください。

### 原水禁世界大会に 奈良から43人

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために」をテーマに、被爆80年原水爆禁止2025年世界大会が8月3日から9日までの7日間、被爆地広島、長崎両市を主会場に開かれました。

奈良県からは、奈良コープ労組、民医連、平和委員会、新婦人、民青、奈良うたごえ協議会などから昨年を上回る43人が参加。奈良市(6日と9日)と橿原市(9日)で世界大会の視聴会の取り組みも行われました。

# 核兵器も戦争もない世界へ 戦後・被爆80年、平和を自分事として



原水禁大会広島デー集會に参加されたみなさん。新婦人奈良県本部の「NO WAR」のタペストリーも笑顔もステキです。



奈良のみなさんから託された16本の千羽鶴を長崎の平和公園に奉納

### 被爆80年、県内各地で 「戦争展」など多彩で 貴重な平和の取り組み

被爆80年の今年、例年より1日多い5日間開催で取り組まれた第30回平和のための奈良市戦争展。3月から実行委員会を積み重ね、特別企画や展示の内容づくり、チラシ・ポスター作成にも力を注がれました。特に、奈良に戦争があったことをフィールドワークや意見交換などを通して学び合う奈良女子大や奈良教育大学の学生の報告、その報告や展示から熱心に学ぶたくさんの中学生の姿が今回の戦争展を特徴づけるものとなりました。昨年を上回る500人が参加しました。

この奈良市戦争展を皮切りに、8月10日には香芝市の第24回「戦争展」、11日には上牧町平和のつどい…と、県内各地で多彩な平和の取り組みが現在進行中です。

世界が戦争か平和かの岐路に立ち、被爆者や戦争体験者が減少する中、被爆や戦争の実相を次世代に伝える地域からの取り組みはますます大切になっています。

7/29  
~8/2

# 第30回 平和のための奈良市戦争展に 500人

### 自衛隊名簿提供違憲訴訟(RYU裁判)

- ◆第6回口頭弁論 9月22日(月)14:30~、奈良地裁101法廷
- ◆報告集会:同日 15:10~奈良県教育会館 4階大会議室

## 奈良安倍国葬反対裁判

(故安倍晋三国葬参列に係る公費返還等請求事件)

### 延期になっていた

### 第9回口頭弁論の日程が決まりました

◆7月31日予定だった奈良安倍国葬裁判は、証人大田直史教授の体調不良で延期となりましたが、新しい期日が決まりました。

今回は、全国でも注目されている“専門学者(大田直史龍谷大学教授)の証人尋問”が実現した法廷です。安倍銃撃事件の地元奈良で、「安倍国葬反対」「戦争する国づくり反対」の県民の意思を、傍聴席を一杯にして裁判官に示そうではありませんか。

- 当事者尋問 松本 健さん 《尋問担当》今治弁護士
- 証人尋問 大田直史・龍谷大学教授 《尋問担当》諸富弁護士

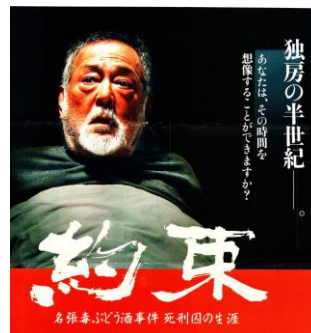
### 第9回口頭弁論

**10月9日(木) 14時~**  
奈良地裁101号法廷 (傍聴席70)

### 裁判報告集会

**14時30分~**  
奈良県教育会館 4階大会議室

傍聴席を  
いっぱいにして  
県民の意思を示そう



この夏、必見の映画です!  
名張ぶどう酒事件死刑囚の生涯  
仲代達也主演  
「約束」

《上映会場》DMGMORI やまと郡山城ホール  
《上映日時》8月18日(月)  
① 10:30 ② 14:30 ③ 18:30  
《鑑賞券》1,000円  
\*学生・障がい者 500円  
《問合せ先》日本国民救援会奈良県本部  
(0742-26-5338)

差別と分断を許さず、生活向上、民主主義、平和の実現の旗を高く掲げ、

# 共同・共闘の力で新しい政治実現の展望を切り開こう

衆議院に続いて自公与党を過半数割れに追い込んだ参院選

参院選で、自公政権に厳しい審判が下りました。

自民党は39議席にとどまり、非改選議席と合わせても100議席と大きく後退しました。連立政権を組んでいる公明党の議席と合わせても122議席で、衆議院に続いて過半数議席を割り込む歴史的な結果となりました。

1955年自民党結党以来初めてのことで

1人区での「一本化」で  
自民を14勝18敗に追い詰める

全国32ある1人区の内、野党の候補者「一本化」が17選挙区で実現。共産党は候補者を降ろすなど自民党追撃を助けました。結果、「オール沖縄」の高良候補が勝利するなど1人区で自民党を14勝18敗に追い詰めたことは今後のたたかいにとって重要です(前回は自民

28勝4敗)。

自民党政治の延命許さず

政治変革めざす

統一戦線運動の発展を

自公だけでは何らの法案も成立させることができない国会状況となりました。直面している物価高・生活苦を自公政権では解決できないと国民が見限った結果であり、国民民主党や賛政党を含む「野党」への市民の期待が反映した結果です。

政治状況は一気に流動化していくことでしよう。部分連合や連立組み換えなどによる自民党政治の延命を許さず、解散・総選挙を勝ち取って政権交代を実現していくことが必要です。

自民党政治に代わるあらたな政治への転換、政治変革をめざす統一戦線運動の発展が、足元の奈良から求められています。

差別と分断を許さず

地域から要求運動の前進を

参院選で女性蔑視や外国人差別などを声高に主張する排外主義・極右的勢力や世代間の分断をおおる勢力が得票と議席を伸ばしたことも重大です。奈良県の選挙区選挙や比例選挙、奈良市議員選挙の結果にもこのことが反映しています。

排外主義が台頭する根っこには、暮らしの深刻な困難と政治への閉塞感があります。ポピュリズムが私たちの要求運動の成果をかすめ取る状況も生まれています。こうした影響を受けている人々も含めて、切実な要求に応えた、地域からの要求運動の前進が必要で

す。要求運動の前進は、70年間続いた自民党政治に代わる新しい政治実現にとって不可欠で重要な鍵です。

戦争への道を許さない

ロシアのウクライナ侵略、アメリカと同盟国の大軍拡、イスラエルのガザ住民へのジェノサイドなど、世界が戦争か平和かの重大な岐路に立たされています。核保有国や一部の国が核兵器への依存を深めることが、世界が核兵器使用の危機に直面する深刻な事態を引き起こしています。

参議院ではこれまでも改憲勢力が3分の2以上を占めてきましたが、今度の選挙で極右を含むより右翼的な勢力が議席を伸ばしたことは看過できません。「核兵器は安上がり」「核武装が必要」「徴兵制も」などと公言する政治勢力の台頭は極めて危険です。

いまこそ「革新懇の3つの共同目標」(生活向上、民主主義、平和)の旗を高く掲げ、共同・共闘の力で新しい政治を実現する展望を切り開きましょう。

### 2025 参院選奈良県挙区票

当	共産・太田敦	46,787
	自民・堀井巖	175,450
	国民・杉本葵	143,740
	維新・平将生	127,173
	参政・黒川洋司	88,988
	立民・川戸康嗣	68,689
	N党・川崎智之	8,994

### 参院奈良県比例票

	2025年	2022年
共産	33,108	40,321
自民	131,057	195,173
公明	59,364	71,971
維新	102,45	161,941
立民	67,163	53,049
国民	77,397	21,609
社民	9,463	8,955
れいわ	35,893	19,688
参政	80,318	22,478
保守	33,989	—

### 奈良市議選の上位当選者の得票

賛政	尾崎のぶこ	10,985
維新	中川こう	8,780
無所属	へずまりゅう	8,320
立民	柿本元気	6,968
国民	江川ゆり	5,581

### 奈良市議選の当選者39人の内訳

◆現職:25人 ◆新人:10人 ◆元:4人  
 《党派別》 ◆自民6人 ◆公明6人  
 ◆維新6人 ◆共産4人 ◆立民2人  
 ◆国民2人 ◆賛政1人 ◆諸派1人  
 ◆無所属11人

### 市議選・日本共産党候補の結果

当	14位	山本直子	4,061
当	21位	北村拓哉	2,994
当	30位	山口裕司	2,496
当	39位	白川ケンタロー	2,222
	40位	榊井隆志	2,091
	41位	中島かつじ	2,066

### 奈良市長選挙の結果

当	中村あつ子	14,982
	仲川元庸	93,079
	山本憲宥	57,141
	喜多浩子	4,673
	野沢琢磨	6,663

### 参院選 | 人区の選挙結果

1人区	今回	22年	19年
青森	立	立	自
岩手	立	自	無
宮城	立	自	立
秋田	無	自	無
山形	無	国	無
福島	自	自	自
栃木	自	自	自
群馬	自	自	自
新潟	立	自	無
富山	国	自	自
石川	自	自	自
福井	自	自	自
山梨	無	自	自
長野	立	立	国
岐阜	自	自	自
三重	立	自	自
滋賀	自	自	無
奈良	自	自	自
和歌山	《無》	自	自
鳥取・島根	自	自	自
岡山	自	自	自
山口	自	自	自
徳島・高知	無	自	自
香川	国	自	自
愛媛	無	自	無
佐賀	自	自	自
長崎	自	自	自
熊本	自	自	自
大分	立	自	無
宮崎	立	自	自
鹿児島	無	自	自
沖縄	無	無	無

↑ 自民の14勝18敗  
 ↑ 自民の28勝4敗  
 ↑ 自民の22勝10敗

自=自民、立=立民、国=国民  
 無=無所属

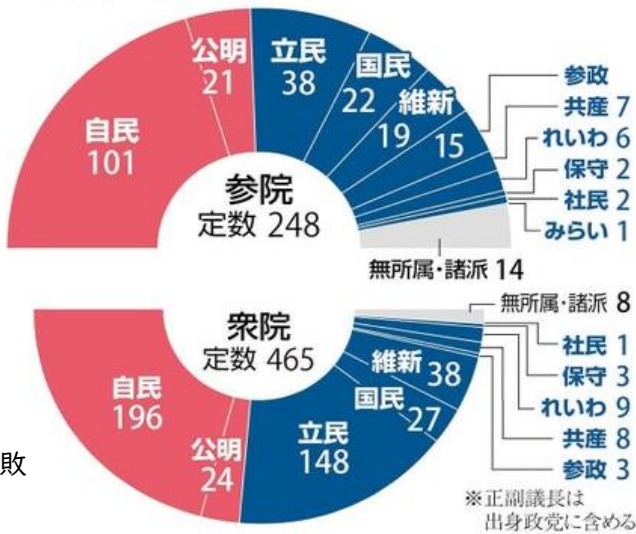
□ は今回野党が1本化した選挙区

### 2025年参議院選挙の結果

#### 党派別の獲得議席数

	選挙区	比例	当選合計	新勢力(議席増減)
自民	27	12	39	101 (-13)
公明	4	4	8	21 (-6)
立民	15	7	22	38 (+0)
維新	3	4	7	19 (+2)
共産	1	2	3	7 (-4)
国民	10	7	17	22 (+13)
れいわ	0	3	3	6 (+1)
参政	7	7	14	15 (+13)
社民	0	1	1	2 (+0)
保守	0	2	2	2 (+2)
その他	8	1	9	15 (+1)

#### 国会の新勢力



#### 党派別の比例の得票数(得票率)の推移

	今回の比例得票数(得票率)	2022年参院選の比例得票数(得票率)	2025年と前回の得票数・率の増減
自民	1281万(21.6%)	1825万(34.4%)	-544万(-12.8%)
公明	521万(8.8%)	618万(11.7%)	-97万(-2.9%)
立民	740万(12.5%)	677万(12.8%)	+63万(-0.3%)
維新	438万(7.4%)	785万(14.8%)	-347万(-7.4%)
共産	286万(4.8%)	362万(6.8%)	-76万(-2%)
国民	762万(12.9%)	316万(6.0%)	+446万(+6.9%)
れいわ	388万(6.6%)	232万(4.4%)	+156万(+2.2%)
参政	743万(12.5%)	177万(3.3%)	+566万(+9.2%)
社民	122万(2.1%)	126万(2.4%)	-4万(-0.3%)
保守	298万(5.0%)	—	—

## 市民の「要求」を大切に 「会型」選挙をたたかい抜きました 奈良市長選で中村あつ子さんが 大奮闘・大健闘!!

7月20日投開票で行われた奈良市長選挙に、「明るい革新奈良市政をつくる会」は、新日本婦人の会奈良県本部会長の中村あつ子氏を擁立して「国政も市政もまるごと変えるチャンス」として取り組み、選挙戦をたたかいました。



大奮闘の中村あつ子さん

選挙戦は中村氏と現職、自民・公明・維新・国民民主相乗りの元自民党市議の事実上の3つ巴となりました。中村氏は当選には至りませんでした。14,982票(得票率8.5%)を獲得しました。当選は現職の仲川げん氏でした。

\*

物価高騰から暮らしを守る対策が求められるもと、中村氏は「変えよう奈良市政、住民に寄り添い、住民とともに歩む市政へ」を掲げ、市民の切実な声に耳を貸さず、国・県いいなりの現市政から、命と暮らしを守ることを最優先にする市政に切り替え、「非核平和都市宣言」にもとづき「世界の恒久平和」及び「核兵器廃絶」の実現のためのとりくみを推進することを全力で訴えました。「がんばってほしい」「ぜひ市長になってもらいたい」など期待の声が多く寄せられました。

勝利できなかったことは残念ですが、加盟団体が要求を持ち寄り、実現するための「要求選挙」として「会型」の選挙戦をたたかったことに大きな意義がありました。会議や小集会で要求を話し合い、運動への参加を広げることができた今後につながる財産となりました。

今回の経験を生かし、強く大きな「明るい会」をつくり、市政革新のために全力を尽くす決意です。引き続き、みなさんのご支援・ご協力をお願いいたします。

2025年7月21日

明るい革新奈良市政をつくる会

## 2025年 奈良革新懇総会のご案内

参議院選挙は、自公政権が衆議院に続いて過半数割れに転落する歴史的結果をもたらし、政治状況は今いっせいに流動化しています。早期の総選挙も想定される状況です。

こうした激動する情勢のもとで、私たちの革新懇運動の役割発揮が求められています。

### ズバリ「討論」が命の総会です!!

奈良革新懇総会は、奈良の革新懇運動に結集するさまざまな団体と個人が情勢と運動の課題を共有するための重要な議論の場です。2023年の総会では、団体や個人から17人が発言し、たいへんに充実した討論だったと好評でした。積極的な討論への参加を呼びかけます。

### 2025年奈良革新懇総会

《日時》 **9月27日(土) 13:30~16:30**

《会場》未定(奈良市内の公共施設の会場確保手続きの最中です)

#### ◆総会プログラム◆

- 13:30 開会あいさつ(代表世話人)
- 13:40 報告と提案
- 14:00 決算報告と監査報告  
予算案の提案
- 14:10 討論(120分)\*途中休憩
- 16:15 報告と提案の承認・確認  
役員案の提案と承認・確認
- 16:25 閉会あいさつ(代表世話人)
- 16:30 閉会

◆5月25日に開催された全国革新懇総会での31人の貴重な発言が満載。ぜひ事務局からお問い合わせを。

◆全国革新懇第44回総会の記録集(300円)の購読を

◆総会には、代表世話人、常任世話人、世話人、顧問などの役員の皆さん、(役員も含めて)奈良革新懇賛同団体と地域革新懇からは複数名の出席をよろしくお願ひします。

◆上記の役員以外の方でも、どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

#### ❖編集後記❖

◆通常1面は、インタビューかこちらからお願いした寄稿を掲載しています。今号は特別に4ページ建てに。実は、エールを送るような気持ちで25歳の民青新県委員長にインタビューを始めたのですが、「奈良県の青年運動の新リーダーの思考は柔軟であったかいなあ」という思いに。そして、このインタビューを1面の900字に押し込めるのは惜しいと考えた次第です。若い世代から私たちの世代への「エールと励まし」としてお読みください。◆自衛隊名簿提供違憲訴訟の原告・RYUさん、原水禁世界大会への若い世代のたくさんの方の参加・・・たたかいは次世代へとつながっています。